

膵嚢胞性疾患の存在診断は近代的医療機器の進歩で、飛躍的に向上したことが本特集号から明らかである。更に、嚢胞の形態・内部構造・内容物・被膜状態・血行動態、嚢胞とその周囲組織との相関などから、質的診断への努力が着実になされつつある。

しかし、依然として粘液産生性膵嚢胞の質的診断は臨床面からばかりでなく、病理面からも困難なことが多い。その最大要因の1つに、組織診断基準の問題がある。本号でも、それが如実に表現

されている。組織診断の不正確は臨床の質的診断・治療へ直結する。この意味からも、本誌の論文では誰が病理診断をしたのか明記する必要がある(責任分担の明記)。

膵小嚢胞が小膵癌や早期膵癌の発見動機となりうることもあり、逆に膵嚢胞性疾患に対する必要以上の外科手術を避けるためにも、膵嚢胞性疾患の質的診断が臨床医と病理医との密接な協力で、更に強力に進められるべきであろう。

胃と腸

3月号(第25巻・第3号) 予告

発売予定 3月2日
定価 1,854円(税込)

主題／胃癌の切除範囲をどう決めるのか

序 説	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	癌研・内 丸 山 雅 一
主 題	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	
	—X線診断の立場から	鹿児島大・2内 西俣 寛人・他
	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	
	—内視鏡診断の立場から	癌研・外 高木 国夫・他
	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	
	—X線・内視鏡の両者を組み合わせて	福岡大筑紫病院・内 八尾 恒良・他
	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	
	—切除する立場から	金沢大がん研・外 源 利成・他
	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	
	—切除する立場から	鳥取大・1外 貝原 信明・他
	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	
	—病理の立場から	都立駒込病院・病理 滝澤登一郎・他
座 談 会	胃癌の切除範囲をどう決めるのか	東大・1外 武藤徹一郎・他
今月の症例	幽門輪上に存在したIIa型胃癌の1例	福井県立病院・外 細川 治・他
入 門 講 座	小腸X線検査の実際	福岡大筑紫病院・内 八尾 恒良
初心者講座	胃X線検査のポイント—私の検査法	3. バリウムの種類と飲ませ方
		丸山 雅一・測上 忠彦・池延 東男

胃と腸 (第25巻 第2号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1990年2月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,854円(本体1,800円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料 22,710円(本体22,049円)

(本年13冊) (送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1990, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・長谷川・萩原・大竹